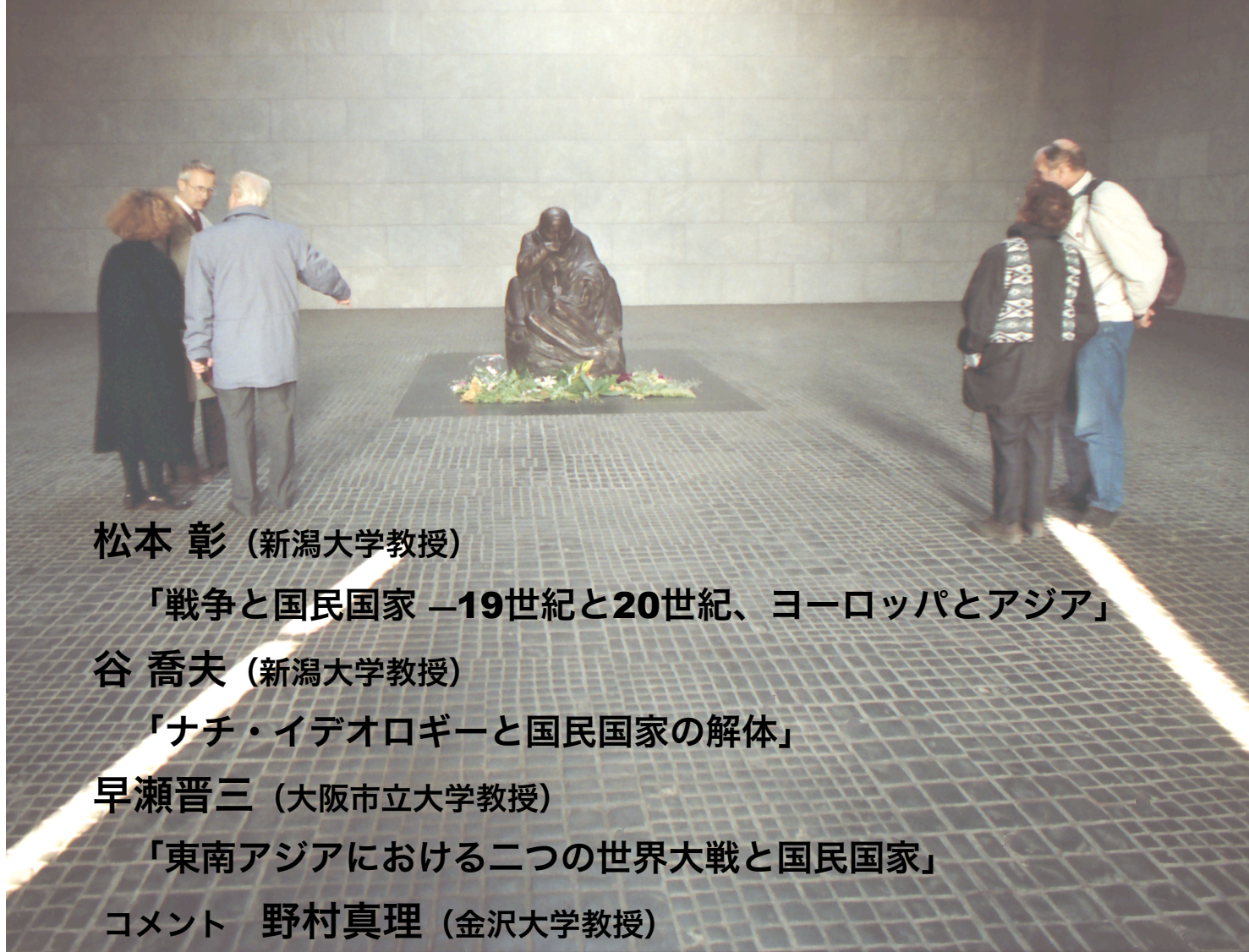


シンポジウム

20世紀の戦争と国民国家

ヨーロッパとアジア



松本 彰（新潟大学教授）

「戦争と国民国家 —19世紀と20世紀、ヨーロッパとアジア」

谷 喬夫（新潟大学教授）

「ナチ・イデオロギーと国民国家の解体」

早瀬晋三（大阪市立大学教授）

「東南アジアにおける二つの世界大戦と国民国家」

コメント 野村真理（金沢大学教授）

報告者・コメンテーター主要著作

松本 彰『記念碑に刻まれたドイツ —戦争・革命・統一』東京大学出版会、2012年

松本 彰・立石博高編『国民国家と帝国 —ヨーロッパ諸国民の創造』山川出版社、2005年

谷 喬夫『ヒムラーとヒトラー —氷のユートピア』講談社、2000年

『ナチ・イデオロギーの系譜 —ヒトラー東方帝国の起原』新評論、2012年

早瀬 晋三『戦争の記憶を歩く —東南アジアのいま』岩波書店、2007年

『マンダラ国家から国民国家へ —東南アジア史のなかの第一次世界大戦』人文書院、2012年

野村 真理『ガリツィアのユダヤ人 —ポーランド人とウクライナ人のはざままで』人文書院、2008年

『ホロコースト後のユダヤ人 —約束の土地は何処か』世界思想社、2012年

日時

2013年3月18日(月)13:00～

場所

新潟大学 総合教育研究棟
大会議室（1F）

連絡先: 19世紀学学会事務局

TEL: 025-262-6570

E-mail: study_19@cc.niigata-u.ac.jp